

2015年度

# ドイツ語 海外研修

## 募集要項

実施期間 <予定>

デュッセルドルフ大学

2015年8月1日(土)～8月30日(日)

レーゲンスブルク大学

2015年8月4日(火)～8月30日(日)

夏季ドイツ語海外研修は、本学と各大学との協定によって実施するものであり、外国人のための外国語研修プログラムとして着実な実績をあげているプログラムに参加します。このプログラムの集中した授業により、ドイツ語運用能力の飛躍的な向上が図れるとともに、ホステルまたは学生寮での生活体験を通してドイツ語の応用と実践を学習することも期待できます。

関西学院大学  
教務機構 言語教育研究センター

### ★レーゲンスブルク大学

バイエルン州東部、ドナウ河畔のレーゲンスブルクにある、1962年創立の総合大学で、11学部を有し、学生数は約20,000名。ドイツ南東部という地理的状况から、ヨーロッパの懸け橋を目指してヨーロッパ研究所(Europaeum)を設置し、特に東ヨーロッパ諸国との交流に重点を置いています。研修ではレーゲンスブルク大学で1975年から毎年開催されている、外国語としてのドイツ語学科提供のインターナショナル・サマーコースに参加します。レーゲンスブルクはローマ帝国の駐屯地として成立して以来、約2000年の歴史を有し、ユネスコ世界遺産の町として知られ、神聖ローマ帝国時代に帝国議会が開催された市庁舎が、今も旧市街に残されています。ドイツで最も古いと言われるソーセージ店、ドナウ河に架かる12世紀に建造された石橋、町を見下ろしてそびえ立つ、少年合唱団で有名なレーゲンスブルク大聖堂もよく知られています。

#### ■ 2014年度参加者の感想

レーゲンスブルク大学研修参加者

法学部 2年 吉村希帆

留学は半年、または1年以上行って初めて成果が得られるという意見もあり、1ヶ月だけではドイツ語の上達は難しいのか、という不安がありました。しかしレーゲンスブルクでの1か月間の生活は想像以上に充実したもので、手ごたえを感じることができました。レーゲンスブルク大学のインターナショナル・サマーコースには、他国からたくさんの生徒が参加しており、ドイツだけでなく、様々な国の文化に触れることができ、日本の文化を広める楽しさを知りました。全員がドイツ語能力を上達させたいという目的で集まっているので、お互い刺激し合って、勉強ができる素晴らしい機会でした。

### ★デュッセルドルフ大学

1907年に設立された医科大学(医専)が中心となり、1965年にNRW州立の大学として医学部、理学部、人文学部の3学部で今日の大学が設立された。1988年ハインリッヒ・ハイネ大学と名称変更され、1990年代には経済学部、法学部が設置された。現在は、学生数約20,000名の総合大学である。1700名を超える教授陣、900名の教育スタッフを抱えており、今回の受け入れはデュッセルドルフ大学の言語センターである。

ドイツで最大の日本人社会を抱え、NRW州都であるデュッセルドルフは、戦後は首都ボンに近く、ルール工業地帯を背景にして発展してきた工業・商業都市で人口約59万人の中都市。旧市街にほど近いケーニッヒスアレーは高級ブランドの並ぶショッピング街。郊外には競馬場もある。外国人人口は約18%で最大グループはトルコ人。

そのデュッセルドルフ大学では、日本研究も盛んで、1985年に旧修士課程の副専攻科目として現代日本研究が導入され、1999年には主専攻科目になり、2001年からは学士課程、新修士課程が設けられ、現在では社会科学系の講座と人文科学系の講座を抱える研究所となっている。

また、関西学院同窓会ドイツ支部もあり、毎年交流会を開催している。

#### ■ 2014年度参加者の感想

デュッセルドルフ大学研修参加者

文学部 2年 胡中麻希

日本語が全く通じない土地で、英語もそこまで良くできる訳ではないので、最初はコミュニケーションのとり方がうまく行かず辛いこともあったけど徐々に慣れてくると少しは会話ができるようになり楽しかったです。また他の留学生在が日本に興味を持ってくれていて、簡単なあいさつをお互いに教え合ったりすることも出来て、異文化に触れる機会を持って嬉しかったです。

週末には友人とドイツ国内の様々な都市を巡り、たくさんの建築物、街並みを見て、ドイツの歴史や文化にも触れることが出来たのでとても充実した生活を送ることができました。

慣れるまでは大変だと思いますが、日が経ち、慣れるにつれ、行動範囲も広がるし、お店の人との少しの会話でさえ楽しくなりました。本当に濃い、充実した1ヶ月でした。

# ドイツ語海外研修 募集要項

## 1 参加資格

参加資格：言語教育科目のドイツ語を履修していることが望ましい。

※重複履修可。

ただし、応募者が多い場合、2回目以降の参加者については、希望に沿うことができない可能性がある。

定員：各大学15名

なお、各大学の参加者が5名に満たない場合は実施しない。

## 2 実施大学

デュッセルドルフ大学

(ドイツ、ノルトライン・ヴェストファーレン州)

レーゲンスブルク大学 (ドイツ、バイエルン州)

## 3 実施時期 <予定>

デュッセルドルフ大学

2015年8月1日(土)～8月30日(日)

レーゲンスブルク大学

2015年8月4日(火)～8月30日(日)

注1)このプログラムは国際情勢の変動などにより、本学の判断で中止またはスケジュール変更することがある。

注2)参加決定者は2015年度春学期定期試験の追試験を受験できない。(プログラム実施期間と重複するため)

## 4 参加費

デュッセルドルフ大学：44万円

レーゲンスブルク大学：37万円

<渡航費・受講料・宿泊費・保険料。食費は含まない。>

注)為替レートの変動等やむを得ない事情により、追加徴収することがある。

## 5 授業時間

デュッセルドルフ大学

1週間に20時間×約4週間+追加授業10時間=計約90時間

レーゲンスブルク大学

1週間に26時間×約3週間+追加授業12時間=計約90時間

※1時間=45分計算

\*両大学とも、コース開始時にクラス分けテストが行われ、初級から上級までの受講クラスが決定される。

## 6 単位認定

実施大学が発行する成績に基づき、帰国後、参加者が所属学部単位認定願を提出することにより、単位認定を行うことが可能である。

## 7 宿舎

デュッセルドルフ大学はホステル、レーゲンスブルク大学は大学寮。

## 8 募集説明会

日時：2014年11月13日(木) 12:50～13:20

11月19日(水) 12:50～13:20

場所：西宮上ヶ原キャンパスG号館224号教室

\*2回の説明会の内容は同じ

## 9 申込・選考・合格発表

申込：2014年11月24日(月)

～12月5日(金) 16:50締切

教務機構 言語教育研究センター

(総合政策・理工学部生は所属学部でも申込可能)

選考：2015年1月10日(土) 9:00～

申込書の記載内容に基づき、志望動機などをドイツ語で質問し、面接選考を行う。

合格発表：2015年1月21日(水) 9:00

教学 web お知らせにて発表。

## 10 参加費の納入

申込金：両大学とも 50,000円

2015年2月13日(金) 15:00納入締切

残金：デュッセルドルフ大学 390,000円

レーゲンスブルク大学 320,000円

2015年3月20日(金) 15:00納入締切

## 11 打合会・事前研修・結団式 <予定>

打合会 2015年1月29日(木) 10:00～

第1回 2015年4月11日(土) 10:00～

第2回 2015年5月16日(土) 10:00～

第3回 2015年6月20日(土) 10:00～

結団式 2015年7月4日(土) 10:00～

注)参加者は、出発までに行われる打合会、事前研修および結団式に必ず出席すること。

## 12 旅行保険

言語教育研究センターで海外旅行保険に加入する。

ご参考)昨年度加入した保険の補償項目は以下の通りです。

傷害死亡/傷害後遺障害/治療・救済費用/個人賠償責任/携行品損害/航空機寄託手荷物遅延費用/航空機遅延

## 13 注意事項

参加取り消しの場合は、次のように取り消し料金を徴収する。

4月10日(金)までに取り消しの場合 …… 50,000円

5月29日(金)までに取り消しの場合

デュッセルドルフ大学 …… 390,000円

レーゲンスブルク大学 …… 320,000円

出発の前日までに取り消しの場合 …… 全額

## スケジュール <予定>

デュッセルドルフ大学

8月 1日(土)発、2日(日)着	関空～デュッセルドルフ
8月 3日(月)～28日(金)	授業
8月29日(土)	デュッセルドルフ～関空
8月30日(日)	関空着

レーゲンスブルク大学

8月 4日(火)発、5日(水)着	関空～レーゲンスブルク
8月 6日(木)～28日(金)	授業
8月29日(土)	レーゲンスブルク～関空
8月30日(日)	関空着

\*最初の1週間は本学教員(ドイツ語担当)がそれぞれ引率する。